

科学技術政策担当大臣賞(地方創生賞)



地方創生を加速させる包括支援型地域産学官連携モデル

開発提案から知財創出・販路開拓まで包括支援型御用聞き企業訪問により次々と新製品を生み出す新しい地域産学官連携モデル「ふくいろキラリプロジェクト」

受賞者

- 国立大学法人東北大学 大学院工学研究科 教授 堀切川 一男
- 株式会社山川印刷所 代表取締役社長 立花 志明
- 福島県 知事 内堀 雅雄

概要

長期的な福島復興を牽引する「ものづくり」において、東北大学堀切川教授、福島県、(株)山川印刷所が主となる産学官連携チームを平成25年に結成。開発・技術改善～販路開拓までも行う「ふくいろキラリプロジェクト」を開始し、中小企業の保有技術を活かした新しい製品開発を支援。地域中小企業へ他に類をみない包括的産学官連携支援を実現した。

連携の工夫・特長・先導性

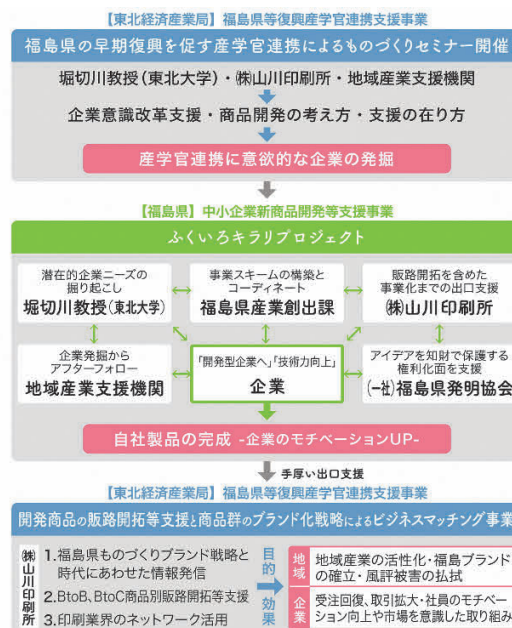
・堀切川教授、福島県の製品開発支援、(株)山川印刷所の販路支援を主とし、(一社)福島県発明協会、地域産業支援機関のフォローアップと連携する包括支援体制を整え、**県内中小企業へ御用聞き訪問を実施**。堀切川教授の専門であるトライボロジーを始めとする工学全般の知識を活用し、**競合他社の製品にはない付加価値を創出する提案**を行い、これにより**多数の製品開発(事業化)を短期間で達成**した。

連携の効果

・延べ190件以上の技術相談に対応し、**30件の新製品開発及び事業化を達成**。これまで下請けゆえに広報出来なかった自社保有技術も、その製品に施すことで存分にPRすることが可能となり、開発製品の販売はもちろん、定性的な効果から**技術による市場創出**を実現した。

社会・技術・市場等への貢献

・新製品開発に伴い、特許出願5件/実用新案1件/意匠出願5件/商標出願7件となっている。また、それら製品はiFデザイン賞(ドイツ)、グッドデザイン賞など多数受賞し、様々な認定を受けている。当事業は、(一財)日本立地センターの林聖子氏(※現:亜細亜大学教授)より「**福島堀切川モデル**」と命名され学会発表されている。



連携体制



開発商品の一例

用語解説

トライボロジー：摩擦・摩耗・潤滑に関する総合科学技術。